

東京三味線学校で四世杵家弥七に師事し、邦楽本来の形、古典の原点を修得。昭和十二年、吉原市に「杵弥会」を設立し、本物の古典芸能を市民に広めるため意欲的に活動を開始、さらに古典邦楽を通じ地方と中央の文化交流を発展させた。



杵家弥佐代さん
(難波歌子さん)
74歳 富士見台

邦楽界に貢献

個人

昭和二十二年、諸流派の統合による「和光会」の結成に努力し、茶人相互の親睦と茶道の普及発展に尽力。昭和三十年、吉原地区茶道連盟代表に就任、大茶会や市総合文化祭など年間を通じ多彩な行事を企画。また定期刊行物の発行など本市茶道の隆盛に貢献、今後も旺盛な活躍が期待されている。



渡辺 邦雄さん
(67歳 中央町)

茶道一筋に

吉原成人学校ペン科で学んで後、福山梅石氏に師事し、その後公民館事業の青年・婦人学級の講師として本市のペン書道の基盤づくりに寄与。昭和五十年、「書道研究するが会」の設立に尽力、副会長としてペン書道の芸術性を探求。また多くの人材を育成し本市の芸術文化の振興に貢献している。



瀬尾せつ子さん
(61歳 広見)

せた。また市の各種文化事業への献身的な協力は市民の音楽文化の発展に大きく寄与している。

ペン書道の普及を

団体



富士青風盆栽会
(代表 佐野 勲さん)

自然を表現する
伝統文化



富士ジュニア・リードオーケストラ
(代表 伊藤直行さん)

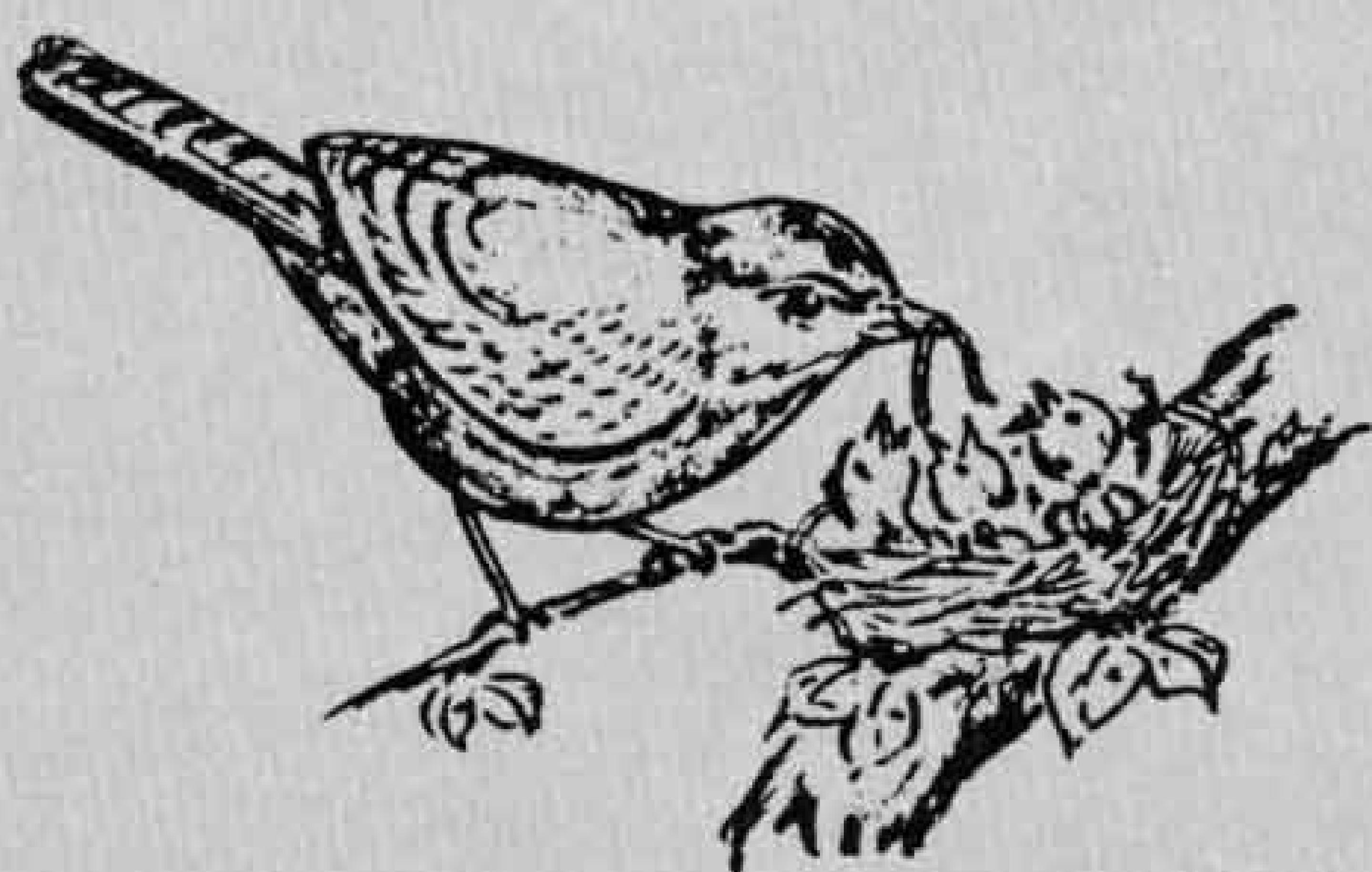
青少年の情操教育
の向上に

人が自然を表現するための日本の伝統的文化として盆栽を位置づけ、自然と一体化し豊かな心を育てる文化活動を開催するため昭和二十五年に設立された。現在、会は富士・鷹岡・吉原・富士北部・元吉原地区の五分会からなり、地域に根差した活動を繰り広げている。また公民館活動としての成人学校への講師派遣や盆栽教室の開催等、積極的・自主的に社会教育活動を開拓。市民文化の向上に大きく貢献している。

昭和四十八年、リード合奏を愛好する児童、教師と活動を支援する保護者の協力により、学校の枠をはずした合奏団として誕生。以来精力的に演奏活動を開催し、青少年の豊かな情操活動と文化活動への参加意識の高揚に大きく貢献。団は小・中学生で構成され、すぐれた指導者のもと、団員として保護者会も充実し自主的な運営を図っている。団出身者には音楽関係で活躍する者も多く、地域文化の振興に貢献している。

愛鳥週間

5.10~16



木々の芽ぶきに誘われて
窓から外をのぞいてください
たくさんの野鳥がいるはずです
ちょっと耳をすましてください
いろんなさえずりが聞こえてきます

※野鳥を捕えたり、飼ったりする場合は市の許可が必要です。問い合わせはみどりの課へ 内線2418